

# 地域ブランド化を図る

福井県コンクリート診断士会  
石川会長を再任

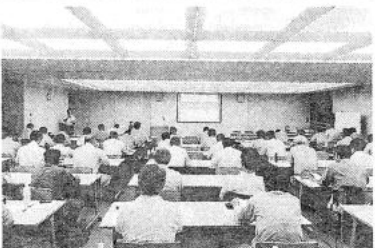
定期総会開く

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）は6月29日、県国際交流

会館で16年度定期総会を開催し、写真、15年度事業報告・収支決算、会則の改正、16年度事業計画ならびに収支予算の承認を行い、任期満了に伴う役員改選で、石川会長の再任を決めた。

石川会長は「この地域のコンクリート構造物の維持管理は、我々、地元コンクリート診断士が担う。診断士の地域ブランド化を図り、社会的地位の向上を目指していく」などと述べた。

今年度事業計画では、地域を支えるコンクリート診断士の継続教育を図るための研修会を開催し、地域密着型の地域貢献活動を推進するため、地元自治体などに対する技術支援や協働および、診断士試験の受験者



に対する支援を行う。

また、地域のコンクリート構造物の現状や維持管理の重要性を広く伝え続けるための、コンクリート診断士の存在や同会に関する広報活動を実施し、地域を中心とした信頼のネットワーク構築に向け、技術交流会などを開催。

その後、第76回研修会で「コンクリート構造物の劣化をどう診るか」「パネラーからの挑戦状」のテーマでパネルディスカッションを行い、意見を交換した。